2017 愛顔つなぐえひめ国体
第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え
TEAM FUKUOKA NEWS
「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズ
１０月 ５日 Vol.4

第７２回国民体育大会
「Ｔｅａｍ福岡」大躍進！！

バスケットボール競技　少年男子　準優勝！！

円陣を組む福岡県チーム

４日（水）、鬼北総合公園体育館にてバスケットボール競技少年男子の決勝が行われた。昨年優勝の京都との対戦は序盤から一進一退の攻防を繰り広げ、第３ピリオドまでは同点で試合は進んだ。迎えた第４ピリオド、残り５分を切ったところで効果的に得点を重ねる京都に対し、福岡はオールコートディフェンスを仕掛けるが、逆に点差が広がる形となった。ベンチは、試合の流れを変えようとするが、落ち着いた試合運びの京都が一枚上で、８５対９７で惜しくも敗れた。

福大大濠高校と福岡第一高校のドリームチームとして臨んだが、相手に傾いた試合の流れや勢いの力は強く、勝利を引き寄せることはできなかった。結果は惜しくも準優勝となったが、試合を盛り上げ、会場を何度も沸かせた２つの高校の選手たちに大きな拍手を送りたい。過密スケジュールの中、合同チームで練習に取り組んできた、監督・選手・関係者に心から感謝し、１２月に行われる選手権大会に向け、気持ちを切り替え、更に互いを高めるライバルとして頑張ってもらいたい。大変悔しい準優勝であったが、本県にとっては、大きな３６点をもたらした。

決勝戦の様子

アーチェリー競技　少年女子　準優勝！！

賞状を手に笑顔

４日（水）、今治市宮窪石文化運動公園でアーチェリー競技少年女子団体決勝が行われた。地元の大声援を受ける愛媛を破った前日の勢いに乗り、連覇を狙う東京に挑んだ。一時はリードする等、相手にプレッシャーを与えたが、逆転を許し、惜しくも準優勝となった。しかし、大躍進をみせた２年生３人の今後の活躍に期待したい。

少年種別への「最後の出場」

八橋選手
カヤックフォアチーム

高校３年間の総決算となる試合が終わった。中学３年生から出場し少年種別４度出場を数える八橋選手は、カヌー少年男子カヤックシングル２００ｍ決勝で３位入賞を果たしたが、「優勝を狙っていたので悔しい」と語った。他県の大学進学も視野に入れている八橋選手は、来年以降「ふるさと選手」として福岡県に貢献したいと考えている。どの試合でも被るという色褪せた福岡県国体帽子を来年も見たい。

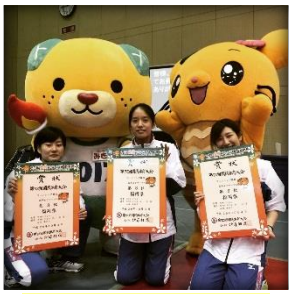
また、カヌー少年男子カヤックフォア２００ｍでも本県チーム（堤・石橋・下川・田中）は３位に入賞し、堤選手は「タイムには満足したが、順位には満足していない」と語った。この悔しい思いを今後の競技生活に活かしてほしい。

フェンシング競技　成年女子　堂々８位入賞！

４日（水）は、伊予三島運動公園体育館にて、成年女子サーブルの二回戦第２プールが行われた。３チームで争い、２位までが準々決勝に進める予選で、愛媛に１対２で敗れたものの、千葉には見事３対０で勝利し、準々決勝に進出、８位入賞を確定させた。

続く順位決定戦では、群馬と岐阜に敗れたものの、久しぶりの８位入賞に、表彰式では笑顔を見せてくれた。３人の選手に大きな拍手を送りたい。

また、矢ヶ部監督兼選手は、「今回金田町の方々には食事や送迎、身の回りの事など大変お世話になりました。民泊という貴重な体験をさせていただき、本当に感謝しています。試合会場でも応援団の皆様からたくさんご声援をいただき嬉しかったです。準決勝進出まであと一歩届きませんでしたが、周りの方々からの応援やサポートがあったからこそ８位入賞という結果を残す事ができたと思っています。」と、周囲のサポートが勝利の一因であったことを語った。



表彰後の様子

Team 福岡の現在状況と今後の展望

４日(水)終了現在、本県は前日から約２００点を獲得し、７位から２つ順位を上げて５位に浮上する快挙を成し遂げた。特筆すべきは、昨年度、一度も上回ることの出来なかった北海道を抑えている点である。

この要因として、昨年度入賞のなかった剣道やアーチェリー少年女子、フェンシング成年女子が結果を残せたことや、昨年度は出場のなかったラグビー少年男子の入賞等が考えられる。また、自転車やバスケットボールなど、活躍が期待された競技がしっかりと結果を残してくれたことも福岡県の大躍進につながっている。

１０日間に渡って繰り広げられる熱戦も、いよいよ折り返しを迎える。現在の順位を死守し、更に上の順位を狙うためにも、チーム福岡が一丸となって今後の競技に挑むことを期待したい。

男女総合成績（天皇杯）　１０月4日終了現在

順位		都道府県名	得点	昨年度順位
１位	⇨	東京	1568.5	１位
２位	⇨	愛媛	1421	７位
３位	⇨	神奈川	1090.5	８位
４位	⇧	愛知	1049.5	４位
５位	⇧	福岡	950	１３位
６位	⇩	大阪	924	６位
７位	⇩	埼玉	910.5	３位
８位	⇩	北海道	845.5	９位
９位	⇧	岐阜	792.5	１０位
１０位	⇨	福井	782	１８位
１１位	⇩	長野	755	１９位
１２位	⇩	岩手	738	２位
１３位	⇨	千葉	721.5	５位
１４位	⇩	兵庫	705.5	１１位
１５位	⇧	京都	681.5	１２位
１６位	⇩	秋田	638	３７位
１７位	⇩	栃木	614	３０位

【各競技入賞者】（10月4日終了時点）

競技名	種目	名前	所属	順位
テニス	成年男子	染谷･伊藤		5位
	少年男子	相馬･相原	柳川高等学校	6位
バスケットボール	少年男子			2位
自転車	成年男子ケイリン	上野　恭哉	法政大学	7位
	女子ケイリン	児玉　碧衣	日本競輪選手会	1位
	少年男子ケイリン	上野　矢竜	祐誠高等学校	5位
卓球	少年女子	柴田･岩越･永道	希望が丘高等学校	3位
フェンシング	成年女子サーブル	矢ヶ部･林･山崎		8位
カヌー	少年男子カヌースプリント･カヤックシングル(200m)	八橋　巧	三潴高等学校	3位
	少年男子カヌースプリント･カヤックフォア(200m)	堤･石橋･下川･田中	三潴高等学校	3位
アーチェリー	少年女子団体	小田･矢原･野田	折尾高校･柏陵高校	2位
ボウリング	少年女子団体	長尾･坂井	嘉穂高校･久留米商業高校	2位
ラグビー	少年男子			5位

ラグビー競技少年男子

国体の情報については、大会ホームページ（http://www.ehimekokutai2017.jp/）より、ご覧ください。

※Facebook においても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター　スポーツ推進課　企画情報係